

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【公表番号】特表 2004-504935 (P2004-504935A)

【公表日】平成 16 年 2 月 19 日 (2004.2.19)

【年通号数】公開・登録公報 2004-007

【出願番号】特願 2002-515428 (P2002-515428)

【国際特許分類第 7 版】

B 0 5 B 12/14

【F I】

B 0 5 B 12/14

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 2 月 6 日 (2003.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

粉体コーティング材料を該コーティング材料を噴霧する装置の噴霧器へ供給するための機構であって、少なくとも 2 つのモジュール (1 1、1 4 ; 2 1 1、2 1 2) を備え、これらのモジュールがコーティング材料の供給源 (B 1 ~ B 4) へ各々接続され、かつ前記材料 (P 1 ~ P 4) を循環 (F₂ , F₃) ために前記噴霧器 (1 ; 2 0 1) へ接続される共通のマニホールド (C) の 主要な通路 (1 1 2 ~ 1 4 2 ; 2 1 1 2、2 1 2 2) の一部を 各々形成することを特徴とする機構。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

この機構は、それが材料を供給する噴霧器から必然的に離間しなければならないような寸法を有し、その結果、分配ディスペンサを噴霧器へ接続するパイプを、材料を変更するときには何時でも、比較的長い長さにわたり洗浄しなければならないので、廃棄される材料の量、および材料を変更する時間が増加する。

また、特開昭 5 5 - 0 2 2 3 5 5 号公報はコーティング材料供給導管が開口する一体のマニホールドを開示している。この共通のマニホールドは接続されるべき導管の数に応じて発展させることができない。これは熱的投射の技術分野に属する米国特許第 3 9 1 2 2 3 5 号によって周知の混合体についても同様である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

この精神において、本発明は、粉体コーティング材料を噴霧器へ供給する機構に関し、こ

の機構には少なくとも２つのモジュールが備えられ、各モジュールは、コーティング材料の供給源へ接続され、かつこの材料を循環するために噴霧器へ接続される共通のマニホールドの主要な通路の一部を形成する。